



医薬部外品・化粧品について

令和7年度広島県医薬品等製造販売(製造)業 管理者等講習会

令和7年11月

広島県健康福祉局 薬務課 製薬振興グループ

目次



- 1 製造販売業、製造業等について
- 2 監視指導状況について
- 3 最近の動向とお知らせについて
- 次の略称を使用します。

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」

⇒ 法、薬機法

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則」

⇒ 規則

「医薬品、医薬部外品、化粧品及び再生医療等製品の品質管理の基準に関する省令」

⇒ GQP省令

「医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品の製造販売後安全管理の基準に関する省令」

⇒ GVP省令

「薬局等構造設備規則」

⇒ 設備規則



目次



- 1 製造販売業、製造業等について
- 2 監視指導状況について
- 3 最近の動向とお知らせについて
- 次の略称を使用します。

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」

⇒ 法、薬機法

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則」

⇒ 規則

「医薬品、医薬部外品、化粧品及び再生医療等製品の品質管理の基準に関する省令」

⇒ GQP省令

「医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品の製造販売後安全管理の基準に関する省令」

⇒ GVP省令

「薬局等構造設備規則」

⇒ 設備規則





薬機法の目的(第1条)

医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保

医薬品等の使用による保健衛生上の危害の発生及び拡大の防止 等

保健衛生の向上を図ること

保健:健康をまもり、たもつこと。

衛生:健康の維持と向上を図るとともに、疾病の予防と治療につとめること。

国·県·医薬品等関連事業者

同じ目的を達成する責務を負っている。

✓ 皆で同じ目的に沿った医薬部外品・化粧品を造る。



製造販売業者に対する規制

⇒製造販売業の許可

許可要件(法第12条の2)

- ✓ 申請者が欠落条項に該当しないこと (法第5条)
- ✓ GQP·GVP適合状況 (GQP省令、GVP省令)
- ⇒人的要件(法第17条)
- 総括製造販売責任者の設置
- ⇒各省令における人的要件
- ✓ 品質保証責任者(GQP省令)
- ✓ 安全管理責任者(GVP省令)

製造業に対する規制

⇒製造業の許可

許可要件(法第13条)

- 申請者が欠落条項に該当しないこと (法第5条)
- 薬局等構造設備規則適合状況 医薬部外品:設備規則第12条、 第12条の2、第12条の3

化粧品:設備規則第13条、第13条の2

- ⇒人的要件(法第17条)
- ∨ 責任技術者の設置

法改正に関する厚生労働省のホームページ

令和7年の医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(薬機法) 改正について | 厚生労働省 (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage 58083.html)

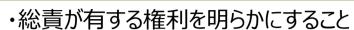






製造販売業者

責任役員



- ・3 役への必要な権限の付与及び業務の監督
- ・従業員に対して法令遵守のための指針を示す



意見申述 記録義務 意見尊重 措置義務

講じた措置等の内容を記録・保存

- ・品責・安責の監督・意見の尊重
- ・品責・安責の報告に基づく措置の決定

所要の措置の報告等

指示

相互連携

総括製造販売責任者

指示

所要の措置 の報告等

品質保証責任者

情報提供

安全管理責任者

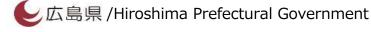
GQP省令(品質管理業務)

- ・市場への出荷の管理
- ・適正な製造管理及び品質管理の確保
- ・品質等に関する情報及び品質不良等の処理
- •回収処理

年間保管

GVP省令(安全確保業務)

- ・安全管理情報の収集・検討
- ・安全確保措置の立案・実施 (※自己点検・教育訓練)
- ※適正な業務のための自主規定









製造業者

責任役員

意見申述 記録義務

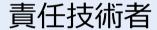
責任技術者が 写しを5年間保管

REPORT



- ・責任技術者等の必要な権限の付与及び業務の監督
- 従業員に対して法令遵守のための指針を示す

意見尊重 措置義務



・製造部門・品質部門の 統括•管理監督 ・品質不良等に対する措 置の指示・進捗確認

講じた措置等の内容を記録・保存

- ・従業者の監督
- 構造設備及び物品の管理
- ・製造及び試験に関する記録等の作 成•保管



(製造部門) 製造管理業務

独立※

※GMP対象の場合

(品質部門) 品質管理業務





	医薬部外品	化粧品
製造販売するために必要な申請書	医薬部外品承認申請書	化粧品製造販売届※
申請先	PMDA 都道府県	都道府県
手数料	あり	なし
添付資料	あり	なし

※全成分表示しない場合は、厚生労働大臣に承認申請が必要

製造販売される品目の承認や受理について

医薬部外品 ⇒ 品目によって、承認審査の内容(添付書類等)が異なる。

化粧品 ⇒ すべての品目、共通の審査を行う。



販売名について

- ✓ 既存の医薬品及び医薬部外品と同一の名称を用いない。
- ✓ 虚偽・誇大な名称あるいは誤解を招くおそれのある名称を用いない。
- ✓ 配合されている成分のうち、特定の成分名称を販売名に用いない。
- ✓ ローマ字のみの販売名としない。
- アルファベット・数字・記号はできるだけ少なくする。
- ✓ 剤型と異なる名称を用いない。
- ✓ 他社が商標権を有することが明白な名称を用いない。
- ✓ 化粧品の表示に関する公正競争規約に抵触するものを用いない。
- ✓ 医薬品又は医薬部外品とまぎらわしい名称を用いない。

配合される成分について

∨ 化粧品基準に基づき各事業者の責任のもとに配合すること

目次



- 1 製造販売業、製造業等について
- 2 監視指導状況について
- 3 最近の動向とお知らせについて
- 次の略称を使用します。

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」

⇒ 法、薬機法

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則」

⇒ 規則

「医薬品、医薬部外品、化粧品及び再生医療等製品の品質管理の基準に関する省令」

⇒ GQP省令

「医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品の製造販売後安全管理の基準に関する省令」

⇒ GVP省令

「薬局等構造設備規則」

⇒ 設備規則





	令和6年度業態数 (R7.3.31時点)	令和6年度監視件数
医薬部外品製造販売業者	11件	5件
医薬部外品製造業	17件	5件
化粧品製造販売業	32件	12件
化粧品製造業	35件	9件

指摘件数	29件
(主な内訳)	
手順書と実態の齟齬	12件
構造設備の不備	6件
記載漏れ	4件
安全管理情報に関すること	3件
その他	4件

4つの業(医薬部外品製造販売業、 医薬部外品製造業、化粧品製造販 売業、化粧品製造業)を合わせて件 数です。



手順書と実態の齟齬

指摘事例

- ○○手順書に規定されている○○記録の様式と実際に使用している様式が異なっていた。
- ・ ○○手順書において、□□業者へX年にY回の定期確認することで、製造管理や品質 管理を確認する手順であったが、品質管理に関して確認できていなかった。

手順書について

例:品質管理に関する場合(GQP省令第18条)

- ・ 市場への出荷に係る記録の作成に関する手順
- ・ 適正な製造管理及び品質管理の確保に関する手順 等
- ✓ 手順書にそった方法で、記録や管理することで、製品の品質の担保になります。
- ✓ 齟齬が生じている場合、製品が適切に製造されたのか不明瞭となります。
- 一自己点検時には、手順書と実態に齟齬が生じていないか確認をお願いします。





安全管理情報に関すること

指摘事例

- ・ 安全管理情報の収集先が不足している。
- ・ 収集した結果が記録に残っていない。

安全管理情報の収集先と記録について

- ・ GVP省令第7条第1項にて収集先の規定
- ・ GVP省令第7条第3項にてその記録を規定

- ✓ GVP省令で規定されている収集先を再確認
- ン 記録様式に不備がないか再確認



安全管理情報に関すること

GVP省令第7条第1項第3号で掲げられている収集先

- ・厚生労働省その他政府機関
- ·都道府県
- ·独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)

厚生労働省に関すること

「厚生労働省法令等データベースサービス」

(https://www.mhlw.go.jp/hourei/index.html)

都道府県(広島県)に関すること

「厚生労働省等薬事関係通知集のページ一覧」

(https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kiki/tuchisyuitiran.html)

PMDAに関すること

「回収情報(医薬部外品・化粧品)」

(https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/qdrugs-cosmetics/0002.html)



厚生労働省に関すること

「厚生労働省法令等データベースサービス」

(https://www.mhlw.go.jp/hourei/index.html)



15



都道府県(広島県)に関すること

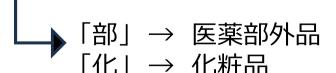
「厚生労働省等薬事関係通知集のページ一覧」

(https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kiki/tuchisyuitiran.html)











PMDAに関すること

「回収情報(医薬部外品·化粧品)」

(https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/qdrugs-cosmetics/0002.html)



4. 回収理由

当該製品は「洗い流す」ことを前提としたヘアトリートメントですが、容器裏面に外国語表記にて不適正な使用 方法が追記されていることを確認しました。誤認および誤使用の防止を目的として、自主的に回収を実施いたし ます。



業務を振り返る機会にしてみてください。 ex表示が適切であるか再点検する等

目次



- 1 製造販売業、製造業等について
- 2 監視指導状況について

3 最近の動向とお知らせについて

● 次の略称を使用します。

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」

⇒ 法、薬機法

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行規則」

⇒ 規則

「医薬品、医薬部外品、化粧品及び再生医療等製品の品質管理の基準に関する省令」

⇒ GQP省令

「医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品の製造販売後安全管理の基準に関する省令」

⇒ GVP省令

「薬局等構造設備規則」

⇒ 設備規則





化粧品における特定成分の特記表示について

令和7年3月10日付け医薬監麻発0310第3号厚生労働省医薬局監視指導・麻薬対策課長通知により、化粧品の成分表示について変更がありました。

化粧品に配合されている成分中、特定の成分の表示は原則、認められない。 当通知の留意事項及びQ&Aに基づき表示する場合は認められる。

⇒ 従前の通知と大きくかけ離れるものではなく、より理解しやすい表現に修正。

注意点

留意事項及び一部のQ&Aについて、削除されている箇所があります。 化粧品だけでなく、医薬部外品の有効成分以外の特定成分の特記表示も当該 通知に準じる。

化粧品 ⇒ 有効成分はないため、効果があるように書くことは認められない 医薬部外品 ⇒ 有効成分以外の成分を有効成分かのように誤認させない

最近の動向とお知らせについて



お願い事項

広告(表示)相談について

広告(表示)は、製品の販売促進(消費者に選択してもらいたい)

- ※法定表示は除く
- ⇒ 広告 (表示) の責任の主体は、事業者自身

広告内で疑義を持っている内容について

「広告内での確認したい文言」と

「**抵触する恐れのある法令や通知等の該当箇所**」を**合わせて相談**してください。

広告全部を見てほしい、この範囲について見てほしい

⇒ 薬務課ではできかねますので、まずは自社で基準等に照らし合わせて御確認ください。

医薬品等の広告規制について | 厚生労働省

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/koukokukisei/index.html)





- 1 製造販売業、製造業等について
 - ⇒ 各業についての遵守事項の復習 自己点検等行い適切な運用をお願いします。
- 2 監視指導状況について
 - ⇒ 共有した指摘事項を参考に業務への活用をお願いします。
- 3 最近の動向とお知らせについて
 - ⇒ 化粧品の特定成分の特記表示に関する通知 広告・表示相談のお願い事項

ご視聴いただきありがとうございました。